

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社アイフリークモバイル 上場取引所 東  
コード番号 3845 URL <https://www.i-freek.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 邦臣  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 三宅 公崇 TEL 03-6274-8901  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,906	△1.1	△91	-	△76	-	△74	-
2023年3月期第3四半期	1,928	△1.4	61	△53.5	118	△45.6	115	△38.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △74百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 115百万円 (△38.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△4.16	-
2023年3月期第3四半期	6.46	-

(注) 1. 2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,255	697	55.2
2023年3月期	1,195	826	68.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 692百万円 2023年3月期 820百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	3.00	3.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
配当予想については、本日（2024年2月14日）公表いたしました「2024年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,593	△0.5	△111	-	△96	-	△93	-	△5.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
連結業績予想については、本日（2024年2月14日）公表いたしました「2024年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名） 株式会社I-FREEK GAMES

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	17,839,641株	2023年3月期	17,839,641株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	17,839,641株	2023年3月期3Q	17,839,641株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(企業結合等関係) .....	8
(収益認識関係) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことに伴う社会経済活動の正常化により、雇用・所得環境の改善が見られ、景気の回復が期待されます。

一方で、国際情勢等の影響による原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価の上昇など、企業の経営成績に影響を及ぼす可能性を注視すべき状況は継続しております。

このような状況のもと、当社グループでは、軸となるコンテンツ事業とコンテンツクリエイターサービス（CCS）事業の二つの事業活動の推進に努めてまいりました。その一環として、経営の合理化と組織運営の効率化を図り、当社グループの成長を一層加速させることを目的として、当社の完全子会社である株式会社アイフリークスマイルズを2024年4月1日で吸収合併する旨を当社取締役会で決議いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,906,380千円（前年同四半期比1.1%減）、営業損失91,834千円（前年同四半期は61,468千円の営業利益）、経常損失76,862千円（前年同四半期は118,169千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失74,207千円（前年同四半期は115,291千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### <コンテンツ事業>

コンテンツ事業では、当社が運営するチャット機能を搭載した決裁承認ワークフローシステムのアプリサービス「Challet(チャレット)」が2023年10月に終了したこと、及び既存アプリ等の改修に関する先行投資が売上、利益面にマイナスの影響を及ぼしております。しかし、当社グループの電子絵本や知育アプリを搭載した子ども向けタブレットレンタルサービス「ハピタブ！」の認知拡大を目的とした「保育博2023—保育・教育ビジネス&サービスフェア」への出展や、咲洲プレ万博実行委員会と共催した「CREPOS ARアートフェスティバル」内のイベント「みんなでつくるARアートOSAKA」において道頓堀の街を彩るイラストを募集し、これらをAR作品として公開するなど、当社グループのコンテンツの強みを活かした、将来的な利益に繋がる施策を実施いたしました。

これらの結果、コンテンツ事業の売上高は131,660千円（前年同四半期比36.0%減）、セグメント損失は33,284千円（前年同四半期は7,802千円のセグメント利益）となりました。

#### <コンテンツクリエイターサービス（CCS）事業>

コンテンツクリエイターサービス事業につきましては、国際的な情勢不安の長期化、エネルギー価格の高騰による物価上昇及び金融資本市場の変動等も相まって先行き不透明な状況が続いておりますが、コロナ禍によるDX化の推進等により受注状態は引き続き好調であることから、稼働率は比較的高い水準で推移いたしました。

一方で、当社グループが将来において優秀な人材を確保するための施策の一環として、第2四半期より継続して実施しているCCS事業の従業員を対象とした、給与水準の引き上げ（ベースアップ）を行った結果、人件費が増加しておりますが、当社グループとかねてより取引関係にあったスマートテックグループの事業の一部を主に第2四半期から当第3四半期にかけて譲り受けた影響により、売上高は増加しております。

今後もCCS事業における営業体制の連携を強化する等の施策を実施し、効率的な事業運営に努めて参ります。

これらの結果、CCS事業の売上高は1,774,720千円（前年同四半期比3.0%増）、セグメント利益は143,110千円（前年同四半期比41.5%減）となりました。

（注）製品名及びサービス名は商標又は登録商標です。

## （2）財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて29,164千円（2.6%）増加し、1,163,833千円となりました。これは主として、売掛金が11,118千円、未収還付法人税等が7,398千円減少した一方、現金及び預金が15,805千円、仕掛品が2,296千円、前払費用が17,152千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて30,802千円（50.9%）増加し、91,288千円となりました。これは主として、有形固定資産が13,668千円、無形固定資産が9,923千円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて59,967千円（5.0%）増加し、1,255,122千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、79,219千円（27.5%）増加し、367,761千円となりました。これは主として、未払法人税等が3,904千円減少した一方、未払費用が33,407千円、預り金が27,337千円、1年内返済予定の長期借入金が12,683千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて109,706千円（136.5%）増加し、190,054千円となりました。これは主として、長期借入金が106,423千円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて188,925千円（51.2%）増加し、557,815千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて128,958千円（15.6%）減少し、697,306千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失を74,207千円計上及び配当金の支払により53,518千円減少したことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月15日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2024年2月14日）公表の「2024年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	676,443	692,249
売掛金	410,693	399,574
仕掛品	421	2,717
前払費用	33,079	50,232
未収入金	4,730	4,340
未収還付法人税等	7,398	—
短期貸付金	11,791	11,791
その他	3,689	17,683
貸倒引当金	△13,579	△14,756
流動資産合計	1,134,668	1,163,833
固定資産		
有形固定資産	11,437	25,106
無形固定資産		
のれん	38,874	48,825
その他	1,285	1,257
無形固定資産合計	40,159	50,083
投資その他の資産	8,888	16,099
固定資産合計	60,485	91,288
資産合計	1,195,154	1,255,122
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,706	20,505
1年内返済予定の長期借入金	27,801	40,484
未払金	34,694	36,801
未払費用	141,812	175,220
未払法人税等	4,241	336
未払消費税等	28,673	32,301
預り金	34,203	61,540
その他	408	571
流動負債合計	288,541	367,761
固定負債		
長期借入金	77,139	183,562
資産除去債務	3,209	6,492
固定負債合計	80,348	190,054
負債合計	368,889	557,815
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	461,893	461,893
利益剰余金	348,385	220,659
株主資本合計	820,278	692,552
新株予約権	5,986	4,754
純資産合計	826,264	697,306
負債純資産合計	1,195,154	1,255,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,928,550	1,906,380
売上原価	1,354,281	1,430,075
売上総利益	574,269	476,305
販売費及び一般管理費	512,801	568,140
営業利益又は営業損失(△)	61,468	△91,834
営業外収益		
受取利息	552	353
業務受託料	2,140	530
助成金収入	51,150	1,367
受取保険料	—	4,900
貸倒引当金戻入額	—	7,860
その他	3,687	843
営業外収益合計	57,530	15,855
営業外費用		
支払利息	501	786
業務受託費用	314	95
その他	13	—
営業外費用合計	829	882
経常利益又は経常損失(△)	118,169	△76,862
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,100
特別利益合計	—	3,100
特別損失		
固定資産除却損	—	107
特別損失合計	—	107
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	118,169	△73,870
法人税、住民税及び事業税	2,877	336
法人税等合計	2,877	336
四半期純利益又は四半期純損失(△)	115,291	△74,207
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	115,291	△74,207

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	115,291	△74,207
四半期包括利益	115,291	△74,207
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,291	△74,207



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社I-FREEK GAMESを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、株式会社I-FREEK GAMESは当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	コンテンツ事業	コンテンツクリエイター サービス事業			
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	205,864	1,722,686	1,928,550	—	1,928,550
外部顧客への売上高	205,864	1,722,686	1,928,550	—	1,928,550
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	205,864	1,722,686	1,928,550	—	1,928,550
セグメント利益	7,802	244,464	252,267	△190,799	61,468

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

コンテンツクリエイターサービス事業において、事業譲受によるのれんを計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、45,864千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	コンテンツ事業	コンテンツクリエイター サービス事業			
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	131,660	1,774,720	1,906,380	—	1,906,380
外部顧客への売上高	131,660	1,774,720	1,906,380	—	1,906,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	131,660	1,774,720	1,906,380	—	1,906,380
セグメント利益又は損 失(△)	△33,284	143,110	109,825	△201,660	△91,834

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

コンテンツクリエイターサービス事業において、事業譲受によるのれんを計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、23,272千円であります。

## (企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2023年8月25日開催の取締役会において、株式会社スマートテクノロジー、株式会社ヴァスダックインターバンクシステム、株式会社スマートテックモバイル、株式会社スマートテックエンタテイメント、株式会社スマートテックシンク、株式会社スマートテックリクリエ、株式会社スマートテッククロス、株式会社スマートテックセンス及び株式会社スマートテックデジタル（以下、これらを総称して「スマートテックグループ」という）の一部事業を当社グループが譲り受けることを決議し、同年8月31日付でスマートテックグループと当社子会社である株式会社I-FREEK GAMESとの間で事業譲渡契約を締結し、同年9月1日より同グループから事業の譲り受けを開始し、2024年1月1日に当該事業の譲り受けを完了いたしました。なお、スマートテックグループ各社は全て主要株主（個人）が議決権の過半数を所有している会社に該当するため、本事業譲受は当社と関連当事者との取引に該当します。

## (1) 事業譲受の概要

## ①相手企業の名称及びその事業の内容

相手企業の名称	株式会社スマートテクノロジー
	株式会社ヴァスダックインターバンクシステム
	株式会社スマートテックモバイル
	株式会社スマートテックエンタテイメント
	株式会社スマートテックシンク
	株式会社スマートテックリクリエ
	株式会社スマートテッククロス
	株式会社スマートテックセンス

株式会社スマートテックデジタル  
事業の内容 S E S 事業

## ②事業譲受を行った主な理由

当社グループは、年齢や性別・国籍・身体的な壁を超えて、人と繋がることのできるエンターテインメントであるe-Sportsを新しい文化として発展させていくため、ゲーム関連事業が有するノウハウを結集した、e-Sports関連サービス（イベントの企画、運営、配信、機材貸出、スタッフの派遣等）等の提供に向けた体制構築を進めており、ゲーム関連のS E S業務に精通したスタッフを豊富に抱え、安定的なサービス提供を行っている実績をもつスマートテックグループと2023年8月31日に事業譲渡契約を締結いたしました。

## ③企業結合日

事業譲受け開始日 2023年9月1日  
事業譲受け終了日 2024年1月1日

## ④企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

## ⑤結合後の企業の名称

株式会社I-FREEK GAMES

## ⑥取得した事業を決定するに至った根拠

現金を対価として事業を譲り受けたことによります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間  
2023年9月1日から2023年12月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	0千円
取得原価		0千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ①発生したのれんの金額

0千円

## ②発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

## ③償却方法及び償却期間

重要性が乏しいため、取得時に一括償却しております。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額ならびにその主な内訳  
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。